

# 文化部3年間の集大成 鮮やかに飾る「有終の美」

オープン準備中の調理部



ンクを頼むとセットで三  
ンジンクッキーがついて  
きた。カフェを訪れたお  
客さんは「照り焼き風味  
のオムライスに大葉のア  
クセントが効いていてと  
てもおいしい」と笑顔で  
話した。デザートのほう  
じ茶プリンは柔らかい食  
感で大変好評だった。

部長の坂本葵さんは  
「クラスの友人や地域の  
方々からおいしいと好評  
を頂けてよかったです。三  
年生が抜けるので今以

六月二十一日、なびすで調理部による「たまごカフェ」がオープンした。メニューはてりやきオムライス、ツナマヨ、ぼうサラダ、ほうじ茶プリンの三種類でプレート形式に盛り付けられ提供された。ドリンクはホットコーヒー、アイスコーヒー、レモンスカッシュ、レモネードの四種類。各ドリ

## 調理部 心を込めた一皿



豪華オムライスプレート

など準備不足を感じる点  
が多かった。九月にオーブンする二年生主体のカフエでは今回の反省を生かして取り組んでほしい」と振り返った。

この調理部のカフエは月に一回程度なびあすを借りて実施しているもので七月は四月に好評だった「さかなカフエ」が開催される。

上に周りを見て行動して  
いきたい」と意気込みを  
語つた。

かるた部は、福井県高等学校かるた大会（四月二十七日）に参加した。一試合目は若狭高校と対戦し、二年生は難なく勝利を收め、一年生も初の大会でありながら懸命に戦った。しかし経験者である相手校も強く、最後まで粘り強く戦つたが一步届かず、二一三で惜しくも敗退した。

また、日本三大大会の一つでもある全国女流選

かるた部  
磨き上げた集中力



日々の練習風景

七月に控える小倉百人一首大会について片山さんは「初めてのA級昇格後の大会でレベルの高い人が多いので、全力でぶつかりたい」と意気込んだ。同じく大会に参加する竹森莉彩良さんは「相手を攻めまくつて一回戦突破を目指したい。賞状を持つて帰りたい」とやる気を見せた。

み、A級にも昇格もする  
ことができた良い大会と  
なった。次の大会でも、  
優勝目指して頑張りたい」  
と語った。また、顧問の  
山川先生は、「四月の大

活躍に大いに期待したい。大会を振り返って片山さんは、「強者がたくさんいる中で優勝できてよかったです。今回の女流戦は着物を新調して試合に臨みました。A級はプロ並みの経験を生かして、次の大会も頑張つてほしい。女流戦はとてもすごい試合でした。」

A group of students wearing face masks are sitting on the floor in a traditional Japanese room, playing Mahjong. They are arranged in a semi-circle, facing each other across a tiled floor. Each student has a set of Mahjong tiles in front of them.

## 試合前の静けさ



丁寧にお手前を披露する部員

練習の成果を發揮できてよかつた。次回のお茶会は、今回の反省点を生かして、より良いものになるように、これからも稽古を頑張つていきたい」と話した。

美術部  
色と形で想いを表現



市美展に向けて最後の仕上げ中！

「ことができた」と語り一、二年生に向けて「部長になる人や副部長になる人など色々な立場の人がいると思うけどまずは楽しむことを

六月九日に茶道部のお茶会が大会議室で開かれ多くの先生方にお抹茶とお菓子が振舞われた。茶道部は二年生十名、一年生二名で活動している。二年生は初めてのお茶会だつたが一つ一つの作法を丁寧にこなし、先生方はその振舞いに見入つていた。

お茶会に参加した前出先生は「なかなか普段体験できないことを体験でき、作法も勉強になつたお饅頭を食べた後の少し苦みのあるお茶は美味し

「お点前では、みんな練習の成果を發揮して落ち着いて披露することができきていて良かった。人前でお点前を披露することは緊張したがたくさんの先生方に来ていただき、

また和んじていいる」と嬉しい吉岡直哉。うそに話したそなたは「毎年先にまた参加できてよかつた。作法も改めて勉強になりました。少し苦いお茶も美味しいただいた」と語った。



お茶を味わう大橋先生

## 写真部「ひしゃべ」を聞く

小浜市美展、敦賀市美展に写真部十七名が出品した。小浜市美展では、奨励賞二作品、敦賀市美展では、敦賀市文化会館協会賞一作品、奨励賞二作品に入賞した。

「今年も皆の写真にはそれぞれの『らしさ』と物語が表れていた。一年生からの入賞や敦賀市文化会館協会賞の受賞は日々の努力の結果だと思う。これからも自分の撮りたい気持ちを信じて撮り続けて欲しい」と語った。(以下入賞者のコメント)

という言葉は、静かで安らかなこと、とあります。静かで落ち着きのある青を表すの



敦賀市文化会館協会賞  
「諺文賞」

音海朱里さん「きれいな緑の葉っぱとカタツムリのヌメつとした感じがよく撮れていたので賞を撮れてとても嬉しかった」  
（敦賀市美展入賞者）

知場楓さん「置物の一部の人物が、まるで夕日の綺麗な時間に待ち合ひせて、なにか懐かしい思いでもしているかのように思えたのでシャツタリを切つた」

〈小浜市美展入賞者〉  
福島望生さん「ライトアップされた桜と天守閣が生み出す幻想的な雰囲気は時が止まつたような感じで、慎重にシャッターをきつた」

にぴったりだと思い、このタイトルにした

【敦賀市総合美術展 堀越 桃さん 獲賞結果】